

KSKQ 明石ともしび会ニュース 令和7年2月号 2025年2月5日発行

K S K Q
一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・五・六・八の日) 発行

		ホームページアドレス : http:// tomoshihi-kai.org 電話番号 : 078-912-4433	編集人 : NPO 法人明石ともしび会 〒673-0871 明石市大蔵八幡町 7-11 理事長 南部 和幸
作業所名 住所 電話/FAX e-mail	コスモス共同作業所 〒673-0898 明石市樽屋町 15-15 藤井ビル 3F 078-911-8650 / 同 hello.cosmos@herb.ocn.ne.jp	ふれあい作業所 〒673-0023 明石市西新町 1 丁目 6-12 TEL 078-924-1699 FAX 078-939-2313 fureai@room.ocn.ne.jp	さくら工房 〒673-0871 明石市大蔵八幡町 7-11 TEL 078-912-4433 FAX 078-912-4455 sakura_koubou6687@car.ocn.ne.jp

立春とはいえ厳しい寒さが続いています、皆様お健やかに過ごしてでしょうか。明石ともしび会ニュース令和7年2月号をお届けします。



明石ともしび会 (理事長 南部より)

いつも NPO 法人明石ともしび会にご協力ありがとうございます。

1月29日(水)にあかし保健所にて関西青少年サナトリウム
の鬼頭あつ志先生から『統合失調症を学ぶ～病態から支援まで～』
の講話を頂きました。その後、明石市のピアポの会の馬場様と
貞方様からピアサポーターとしてのリカバリーストーリーのお話を頂きました。

鬼頭先生からは、支援のポイントとしての大事なことは、1. 正しい知識(「知は力」「どこが分からないかわかる」、2. 共感 想像力(つらい病気なのです)、3. 薬物の継続(投薬中止で再発率5倍) 4. 治療の継続(つながりは重要です)、5. 焦らない(巻き込まれないように)、6. 弱点? 強味?(視点を複数持って、柔軟な思考が大事)、7. 尊重(結局本人の力が一番です)の7つであること、そして、接し方としては、「統合失調症の人」というような人はいない。Aさんにはどう接するか、Bさんにはどう話すか?ということであり、加えて、症状の知識と理解が有れば良い。まとめとしては、本人と関係を作って続けることであり、「いっしょに」の意識と経験が重要とのことでした。

そして、ピアサポーターさんからは、赤裸々に発症前の状況や発症後の辛さ、そして、それを乗り越えられた歴史、体験をお話し頂きました。貴重はお話しでした。お話をすることがご本人の辛さの開放であり、症状の更なる回復につながります。私たちにはこのようなお話を我が子が出来るようになればと、一縷の望みを抱きました。

明石ともしび会家族会 (会長 岩永より)

いつもともしび会家族会にご協力ありがとうございます。1月例会ではグループホーム『スマイリーハウス東二見』を14人で見学してきました。とても良い体験だったと好評でした。

こころやすらぐ広場は、1月5日の当事者の参加者は1名でしたが、19日は当事者の方5人、相談者が2人と沢山の方に来ていただきました。あすくの相談窓口も27日(月)にともしび会家族会が担当しましたが、相談者はおられませんでした。

2月2日(日)のこころやすらぐひろばでは、スマホ・パソコン教室を開催します。

2月8日(土)14時から明石市総合福祉センターにて『こころの病家族教室』を開催します。

東加古川病院院長の森様より『精神障害の新しい薬の話と治療方法』をお話ししていただきます。

2月23日(日)13時半から家族会定例会を明石市総合福祉センターで開催します。

兵庫県立大学看護学部の川田教授の研究生の方からお話を伺います。是非ご参加ください。

(090-1138-4777 岩永)